

陸平通信

OKADAIRA 2020年12月1日発行
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359
美浦村文化財センター（陸平研究所）
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

第Ⅱ期 104号

秋のおかだいらかいづか



▲木原小4年生が遠足で訪れ1日陸平を満喫しました。復元竪穴住居の前で元気にポーズ。
午後にミニ土器作り。楽しいひと時を過ごせた様子が感想文から伝わってきます（P2に掲載）。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため1年の半分以上が活動自粛となっていました。文化財センターでは規制が緩和された9月から予防対策を講じつつ、規模を縮小して体験の受け入れや体験講座をおこなっています。

9月中旬から11月に開催されていた「弱虫ペダル デジタルスタンプラリー WALK & RIDE in 茨城」（主催：プレイアトレ土浦）でラリーポイントのひとつになっていた文化財センターは、期間中サイクリングを楽しむ人たちが連日のように訪れていました。

また、美浦俳句連盟の皆さんが秋の陸平をテーマに吟行されるなど秋の陸平貝塚公園は体験や見学に訪れた人も多く、久しぶりに賑わいが戻りました。



▲茨城県立歴史館で開催されていた特別展「Jomon Period -縄文の美と技、成熟する社会-」の関連イベントツアーで県内の方が陸平貝塚の見学と土笛作りを体験しました

形も様々野焼きの土器に偲ぶ縄文陸平（日和吟社俚謡集より）



▲梅朝さんと客席の間には
ビニールで仕切り

文化財センターでは、見学や体験
を楽しんでいただくために来館者の
皆様にもご協力をいただきながら事
業を進めています。今回はそんな体
験の様子を少しご紹介します。

新型コロナウイルスに 負けないゾ!

文化財センターのみなさんへ
とき作りが楽しかったです。
完成がまだと嬉しいです。
家族でも行きたいと思っています。
せめていつかとき作りいろいろおしえてくださいと
うございました。 本原小学校 四年一組 長沼 ひとみ



ミニ土器を作っています。
竹や棒で文様を描いてい
ます。

文化財センターのみなさんへ
この前は土器作りのことを教えていただきありが
とうございました。そのおかげでいろいろなことが
できました。また「土器作り」もとてもきれいに
できました。おじいちゃんおばあちゃんも喜んで
くれました。ありがとうございます。ほんとうにありがた
うございました。

本原小4年 豊より



テーブルをビニールで仕切り、
個別スペースを確保



吟行 陸平の秋を詠む

美浦俳句連盟

陸平の風肌に触れ行く秋の声	青野安佐子
貝塚に秋の小鳥の歌いをり	市川紀行
炭竈や詰める竹伐る陸平	海道民子
さくさくと脚下絡む落ち葉かな	木澤はしめ
陸平イノシシ注意の案内板	田島早苗
冬ぬくし貝塚に見るグルメ跡	長田敏笑
草の花色とりどりに丘の道	増尾尚子
老いしづか竹炭匂う仏間にも	松本秀子

文化財センターのみなさんへ
土器作りが楽しかったです。
また作りたかったです。
てんじをしてあげたいともうごから
た。また見たいです。

本原小4年 いしつかひな

今日は学芸員が
先生。
陸平貝塚につい
て学習しました。

体験指導にあたる皆さんもマスクで対応。室内も窓を開けて換気！いつもは参加者とのコミュニケーションも楽しみですが、今は少々おさえて・・・。



縄文クッキーは体験者がすべて自分で作ります。美浦バレエ同好会の子もたちからは「とってもおいしい!」と嬉しい感想。



「美浦かるた」で知るみほの文化財

今回の札は
「せ」「り」

先史より 見守る紫峰 筑波山

理想郷 常陸の国は 美浦の里

いまから1, 300年ほど前は奈良時代にあたり、茨城県は常陸国とよばれていました。国の中心は奈良の平城京にありましたが、中央の役人が常陸の国にきて地域を治めたりしていました。その頃の茨城の中心地は石岡市にあり、現在、石岡市には常陸国の役所の跡である常陸国府跡が国史跡となっています。713年、各国に編纂が

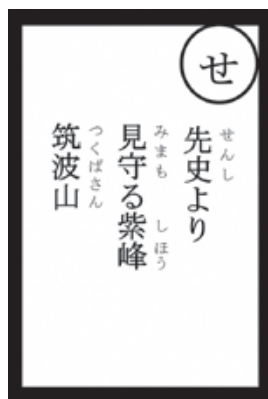
かれてあります。奈良時代には国力に依じて等級がつけられていましたが、常陸国は最も国力の高い位置にある「大国」に分類されていきましたので、そこからもその豊かさがかがえます。古代の美浦村にすんでいた人びとは海だった霞ヶ浦の豊かな自然から恩恵をうけていたことでしょう。

命ぜられた風土記の中でも「常陸国風土記」は現在まで伝わる5つの国の風土記のひとつで、しかも東日本のエリアでは唯一残ったものになります。風土記はその地域の自然地理や産物、地名やいい伝えなどとともにその国の豊かさなども記すことになっていました。

「常陸国風土記」には筑波山についての記述もあります。筑波山は男体山、女体山と二つの峰からなり古代より信仰の山として知られています。筑波山には富士山と関わる話が伝わっています。神代の頃、親神様が諸国の神々をめぐっていた時に日が暮れて福慈神（富士神）に宿をお願いしたところ断られ、筑波神にお願いしたら快くもてなしたことから、富士山はいつも雪に覆われて登ることができないが、筑波山は人々が往来し集い楽しむことが絶え間ない、ということなのです。

「常陸国風土記」によれば、国は広大で土地が豊かであり、山の幸や海の幸に恵まれみなゆったりと暮らしていて、遠い昔の人が常世の国（理想郷）といったのはこの国のことだろうか、というような内容が書

※引用参考文献「常陸国風土記ゆかりの地マップ」



陸平貝塚公園での炭焼き活動紹介

陸平をヨイショする会では、陸平貝塚公園内の里山活動として繁茂する竹林の管理の一環で炭焼き活動をおこなっています。活動を知ってもらおうと10月6日（火）から18日（日）まで文化財センターのロビーで展示をおこないました。炭焼き活動はしばらく休止していましたが昨年から活動を再開しました。展示では炭焼き活動や竹炭の活用などが紹介されました。



身近な場所で気軽に楽しい時間をすごしましょう。

新型コロナ感染拡大予防のため、すべての体験事業は事前に申し込みとさせていただきます。また予防対策をとらせていただいた上で実施しますので、ご参加の際にはご協力をお願いいたします。感染状況などにより中止になる場合もあります。

◆申込み 文化財センター ☎ 886-0291 ※月曜休館

第30回 梅朝基礎落語

今年は新型コロナで自粛ムードでしたが、最後は好文亭梅朝さんの落語で笑って楽しいひとときを！

- ◆日にち 12月13日(日)
- ◆開演 午後1時30分から
- ◆場所 文化財センター
- ◆対象 県内にお住まいの方
- ◆定員 20名 ※要申込



当日、定員に達していない場合は参加可能。

文化財センターの体験メニュー

1名からお申込みいただけます。現在は美浦村在住の方のみの受け入れとさせていただきます。体験日は調整させていただきます。まずはお問合せください。

◆体験メニュー

土器作り、ミニ土器作り、縄文クッキー作り、まが玉作り、さき織り、どんぐりカレンダー作り、どんぐり時計作り、貝塚の貝を調べてみよう

ミニ門松づくり

簡単なミニ門松をつくります。

- ◆日にち 12月25日(金)
- ◆開演 午前10時～12時
- ◆場所 文化財センター
- ◆対象 美浦村にお住まいの人
- ◆定員 6名 ※要申込
- ◆参加費 500円

※竹を切る作業があります。



イノシシ注意



陸平貝塚公園内ではイノシシが確認されています。捕獲のためにワナをしかけてある場所があります。目印で表示してありますので、進入しないようにお願いいたします。また、イノシシは夜間に行動していることが確認されており、特に日没後に公園内へ赴くのは避けてくださるようお願いいたします。

文化財センターにご来館される皆様へお願い

新型コロナウイルス感染拡大予防のためご協力をお願いいたします。

- ・マスクまたはフェイスシールドのご着用
- ・文化財センターの出入り口にて手・指の消毒
- ・体調がすぐれない場合はご来館をお控え願います。
- ・いばらきアマビエちゃんへの登録



陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car

常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus

JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km

